

～野鳥観察を市民科学に～

eBird でバードウォッチングウィークを楽しもう！

(公財)日本野鳥の会(事務局:東京、会長:上田恵介、会員・サポーター数:約5万人)は、バードウォッチングウィーク(11月1～7日)に、より多くの方に野鳥観察を楽しみ、世界規模の市民科学プロジェクト「eBird」に観察情報を寄せていただけるよう、キャンペーン「eBirdでバードウォッチングウィークを楽しもう！」を実施します。観察対象種を見た方には、記念品のプレゼントもあります。



■eBirdとは？

eBird(イーバード)は、米国・コーネル大学鳥類学研究室(Cornell Lab of Ornithology)が運営する、世界最大の野鳥観察データベースであり、市民科学(市民と科学者が協働する科学研究)プロジェクトです。eBirdには世界中のバードウォッチャーから10億件を超える野鳥観察情報が寄せられ、蓄積されたデータは鳥類の調査研究や保全活動に活用されています。日本野鳥の会はコーネル大学と協働で、その日本語のポータルサイト「eBird Japan」を運営しています。

eBirdでは、自分のバードウォッチングの記録をPCやスマートフォンから投稿して、アーカイブできます。また、さまざまな検索機能で、見たい鳥が観察されたポイントや、旅行先のバードウォッチングスポット、その地域で観察された鳥のリストを見ることができます。eBirdを利用すれば、スマートフォンひとつが、フィールドノートにも、図鑑にも、探鳥地ガイドにもなります。

■11月1日～7日はバードウォッチングウィーク。eBirdで野鳥観察を楽しもう！

11月1～7日はバードウォッチングウィークです。秋から冬にかけては木々の葉が落ち、鳥の姿を見つけやすくなります。ガン・カモ類など比較的大型の水鳥も渡ってくるので、バードウォッチングを始めるのに最適です。バードウォッチングウィークの間、好きな時に野鳥を観察して、eBirdに投稿してみましよう。

日本野鳥の会では、10月28日にeBirdの基本的な使い方を解説するオンラインセミナーを開催します。また、11月1～7日の間にeBirdに観察記録を投稿した方にプレゼントをさしあげるキャンペーンを実施します。

【キャンペーン「eBirdでバードウォッチングウィークを楽しもう！」の概要】

- 期間:2022年11月1～7日(バードウォッチングウィーク)
- 参加方法:期間中いつでも、好きな時間にバードウォッチングをして、見た鳥を「eBird Japan <https://ebird.org/japan/home>」またはアプリ「eBirdモバイル」から投稿してください。

特別な場所に行かなくても、家の窓から10分、庭に来た鳥を観察する／通勤や通学の途中で見た鳥を観察する／子供と一緒にいく公園にいる鳥を観察するなど、日常生活の中の観察も、貴重な記録になります。
※eBirdに投稿するには、アカウントが必要です。

アカウント作成方法：https://ebird.org/japan/news/creating_account

●投稿方法：eBirdモバイル、eBird Japan ウェブサイトからの投稿方法は、以下をご覧ください。

eBird モバイルからの投稿方法：<https://ebird.org/japan/about/how-to-mobile>

eBird Japan ウェブサイトからの投稿方法：<https://ebird.org/japan/about/how-to-web>

●参加賞：期間中にチェックリストを投稿された方のうち、

①サントリー特別賞 観察対象種のカモ3種（マガモ、コガモ、オナガガモ）をすべて観察し、投稿した方10人（該当者多数の場合は抽選）に、サントリーホールディングス株式会社提供の「ステンレス製真空タンブラー『フクロウ』（藪内正幸イラスト）」をさしあげます。



協力：藪内正幸美術館

＜観察対象種－身近な水辺で見られるカモ3種－＞



②日本野鳥の会賞 7日間毎日チェックリストを投稿した方 10人（該当者多数の場合は抽選）に、日本野鳥の会オリジナルグッズ「卓上カレンダーと里山の野鳥リングメモ」をさしあげます。



【これから eBird を始める方へ】

① eBird の使い方

eBirdの基本的な使い方は、こちらをご覧ください。

https://www.wbsj.org/activity/conservation/ebird/to_use_ebird/

② ウェビナー「eBird で憧れの鳥に会おう」

- 日時：2022年10月28日（金） 19:00-20:00
- 対象：eBirdを初めて利用する方、使ってみたいが、情報検索や投稿方法がよくわからないという方
- 方法：Zoom ウェビナー（定員400名）
- 解説：葉山政治/岡本裕子（公益財団法人 日本野鳥の会）

●参加費：無料

●内容：eBirdでの野鳥情報の検索方法、観察結果の投稿方法、eBirdと連動する識別アプリMerlinの使い方等を解説します。

●お申込みはこちら <https://www.wbsj.org/activity/event/seminar-ebird-20221028/>

③電子教材「学校教育でのeBird利用ガイド」

eBirdを学校や教育活動で活用いただき、子どもたちに野鳥や市民科学に親んでもらうため、電子教材を発行しました。こちらから自由にダウンロードできます。

https://www.wbsj.org/activity/conservation/ebird/ebird_guide/

■eBirdとは

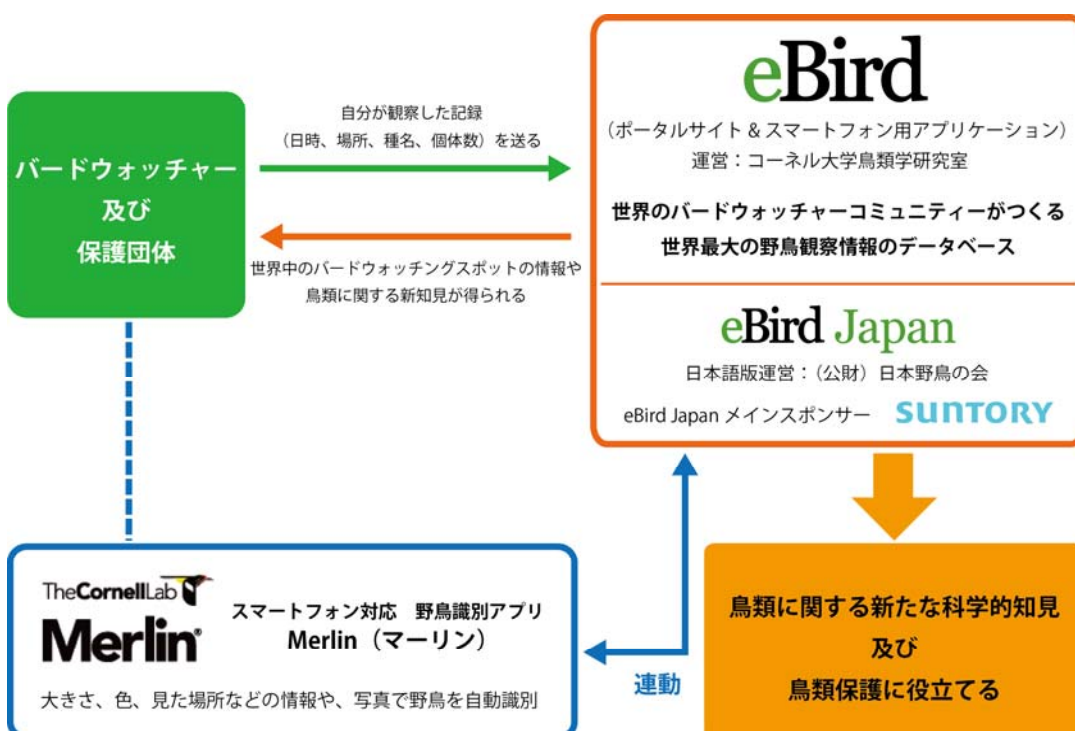
●世界的な科学研究プロジェクト

eBirdは、米国・コーネル大学鳥類学研究室が運営する、世界的な科学研究プロジェクトです。世界中のバードウォッチャーの野鳥観察記録をオンラインで共有し、鳥類の研究や保護に役立てることを目的としています。2022年10月1日現在、eBirdの利用者は80万人にのぼり、日々増え続けています。

●13か国語に対応 非営利ならば自由に利用できるデータ

eBirdは、コーネル大学鳥類学研究室と、世界中のパートナー団体、何千人もの地域の専門家、何十万ものユーザーとの共同で運営されています。日本のポータル“eBird Japan”は、サントリーホールディングス株式会社（メインスポンサー）と、カールツァイス株式会社（協賛）のご支援を得て、（公財）日本野鳥の会が運営管理しています。

eBirdは13か国語に対応しており、世界中で利用できます。また、eBirdのデータは、調査研究や教育活動、自然保護活動など非営利目的であれば、自由に利用できます。



■日本野鳥の会 組織概要

組織名：公益財団法人 日本野鳥の会（会員・サポーター 約5万人）

代表者：理事長 遠藤孝一

所在地：〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

URL：<https://www.wbsj.org/>

■本件に関するお問い合わせ先

（公財）日本野鳥の会

〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

担当：自然保護室 葉山政治／岡本裕子

電話：03-5436-2633 E-mail：ebirdjapan@wbsj.org